

滋賀県いじめ問題生徒会サミット

兼 第1回子どもによる滋賀県いじめ対策チーム会議
日時：平成27年8月24日（月）
場所：RiseVille都賀山



テーマ

「いじめ問題をなくすためにわたしに何ができるか」



参加児童生徒数

小学生6名 中学生29名 高校生3名 合計38名



打出中学校からの活動報告

文化祭で作成した「いじめ防止のCM」の披露をはじめUIP(打出いじめ防止プロジェクト)の取組を説明し、昨年度参加した「全国いじめ問題子供サミット」について報告しました。



ファシリテーターをしてくださった大学生の皆さん

グループ協議で活発な意見交流ができるように、大学生の皆さんにファシリテーターをしていただきました。アイスブレイキングからグループ協議まで大変お世話になりました。



守山市内4市立中学校からの報告

心がつながることが、各学校をつなぎ、守山市全体をつなぐ「わ」となる。そのような願いを込めて、いじめ撲滅スローガン「Pure Hearts 4 Moriyama 広げよう 4つの『わ』（和、笑、環、輪）」を市内4中学校でつくり、活動を共有し、思いを共有していく決意を発表しました。



グループ協議のコーディネーターは兵庫県立大学准教授の竹内先生

他県他市のいじめ調査から、「いじめられたことがありますか?」「いじめたことがありますか?」「いじめを見たときどうしますか?」の質問に対する回答について話し合い、実態を把握し、その現状を受けて今私たちに何ができるかを考えました。

6グループにわかれ 活発に意見交流をしました



いじめ問題をなくすためにわたしに何ができるか

- いじめのない環境をつくる。
- スローガンを一人ひとりがつくる。
- あいさつなど簡単なコミュニケーションをとる。
- SNSの使い方は、できる・守れるルールを自分たちでつくる。
- いじめを見つけたら、一人で止めようとせずみんなで止める。
- 生徒会で笑顔を呼びかける。
- いじめ防止の劇やCMなどを制作して呼びかける。
- いじめ防止のポスターを制作して掲示する。

最後に、これまでみんなで話し合ってきたことを、いじめをなくす三か条にまとめました。誰かがやってくれるのではなく、それぞれの学校でわたしたちに何ができるかを考え、ひとりでは難しいことも、仲間とともに活動を行っていきたいと思いました。



【いじめをなくす三か条】

いじめをするのが私たちなら
いじめをなくすのも私たち

あいさつは いじめ防止の特効薬

相手を尊重 自分も尊重

第2回子どもによる滋賀県いじめ対策チーム会議

日時：平成27年12月25日（金）

場所：滋賀県庁北新館5B会議室

テーマ

「いじめ問題をなくすためにわたしに何ができるか」

参加児童生徒数

小学生6名、中学生5名、高校生4名 合計15名



平成27年度「子どもによる滋賀県いじめ対策チーム会議」 今年度第2回目の会議開催！

今回の会議は、まず全体会で、各学校のいじめ問題についての取組や現状等について、子ども委員から発表がありました。

その後、3つのグループに分かれて第1回目の会議で決定した「いじめをなくす三か条」について、その「三か条を生かした私たちにできる取組について」の意見交換や、いじめが発見しづらい状況にあることから、「子どもが答えやすいいじめアンケートとはどのようなものか」についての話し合いを行いました。

各校の取組紹介

下阪本小学校

友だちづくりプロジェクト

- 「いじめについて、考えよう」の劇の作成
 - ・劇をビデオ撮影し、校内のパソコンから自由に視聴できる
- アピールするための「のぼり」の作成
 - ・「いじめをみかけたら、止めよう」
 - ・「友だちを大切にしよう」
- 友だちづくりのトランプ配布
 - ・トランプを使って遊ぶことにより、友だちと親睦を深めてもらう

全校で考えよう！

- 心かがやく希望の集会
 - ・「みんなの命を大切にしよう」「いじめをやめよう」という気持ちを全校で確かめる集会

亀山小学校

仲良し集会

- あいさつについてのアンケートの結果についての話し合い
- 縦割り班の人との交流
 - ・「じゃんけんであいこだったらハイタッチをする」等

亀山小いじめの宣言！

- 仲良し集会で決定し、朝の放送で呼び掛ける

人権集会

- 児童会が劇をして、いけないところと良いところをグループで話し合う
- 「ありがとう交換」、「スリッパそろえ」のアンケート結果のふりかえり

大宝西小学校

友だちになる、友だちを大切にする全校の取組

- 「スマイルウィーク」
 - ・12月は「ふわふわことば」を言うように呼びかけた
- 「全校人権集会」
 - ・「友だちを大事にしよう」と児童会が劇をして呼びかけた
- 「たてわり遊び」
 - ・毎月の遊びを通して友だちになり助け合う

友だちのことをよく知って、その人のいいところを見つける取組

- 「プライドシャワータイム」
 - ・毎日帰りの会で全員が当番の人の良いところを紹介
- 「ことばのプレゼント」
 - ・友だちのすごいな、まねしたいなと思うところを見つけ、1枚の紙に学級全員が書いて、一人ひとりに渡し合う

高穂中学校

高穂中学校 六箇条の誓い

アンケートや劇による取組

- いじめといじりの境界線について考える
 - ・アンケートを行い、いじめといじりの違いを聞く
 - ・意識の低かったもの「相手の気持ちを考えずにあだ名で呼ぶ」「机を意図的に離す」
 - ・少しでも、嫌だと思った時点でそれはいじりではなくいじめになる
- いじめはなくせるかについて考える
 - ・いじめをなくせると思っている人は多いが、なくせないと思っている人もいる

※今回の劇やアンケートの結果を受けて、生徒の意識を変えていく

明富中学校

「なかま」に焦点を当てて「お互いに認め合い、他者から学び合う心の育成を目指した集団づくり」

生徒会各委員会の取組

- 人権福祉委員会…啓発ビデオの作成
「大切なあなた、私のせいじゃない」
- 美化委員会……階段アートの作成
- 環境委員会……校内花壇に「友」の花植え

人権集会

- 生徒会劇の取組テーマ「なかま」の鑑賞
・個性や立場を尊重して他の人から学ぶ姿勢を育む

「明富中学校人権宣言」を制定

- 生徒会から全校への発信
・ハッピーに過ごせる学校生活を目指して

河瀬中学校

河瀬中学校生徒会スローガン

「全校生徒総活躍!!!～主人公は私たち～」

人権委員による「作文の朗読」

- 各クラスの朝の会にて朗読

人権集会…各クラスの人権アピール発表

- ・まわりの幸せは自分の幸せ
- ・咲かせよう仲間との絆の花を
- ・世界でただ一つの〇〇づくり
- ・咲かせよう人権の花、感じよう人権の心、70億の花を咲かせよう
- ・壁は必要ない、必要なのは橋だ
- ・増やしたいのは笑顔です

水口東中学校

スローガン「意欲+協力+快適=生徒会」

- 人権委員会の活動
・生活調査アンケート
・人権標語の募集

- 生活委員会の活動
・迷惑調査アンケート
・あいさつチェック

- 生徒会本部・協議委員会の活動
・満足度アンケート

これからの学校

- 各委員会が行ったアンケート結果を踏まえ「これからの学校」について考えた。
・元気よくあいさつができる
・人の気持ちを考えられる
・積極的に活動できる

水口東高等学校

いじめ防止学級活動

- 実施したアンケートの結果を踏まえて、その結果についての話し合い
- いじめの反対語について話し合う

演劇鑑賞

多文化社会についての学び

- 諸外国の人たちが来校したり、生徒が外国に行くことで、多文化社会の意識付けを行う

虎姫高等学校

あいさつ活動

スピーチコンテスト

- 「友人や家族への思い、学校生活での喜びや葛藤」について

※学校の活動や生徒会、また校風などでいじめをなくせることができるのではないかと考える

彦根翔陽高等学校

クラス対抗戦

- クラスでの活動が非常に少ないことから、生徒会では、文化祭や体育祭で1年、2年、3年の学年ごとにクラス対抗戦を行い、クラス内の親睦を深めやすくする取組を実施している

アンケートの実施

【いじめをなくす三か条】

いじめをするのが私たちなら
いじめをなくすのも私たち

あいさつは いじめ防止の特効薬

相手を尊重 自分も尊重

いじめをなくす三か条を生かした私たちにできる取組

滋賀県教育委員会でも、第1回目の会議で決めた「いじめをなくす三か条」を、滋賀県教育委員会のホームページや広報誌「教育しが」等で配信し広めているところですが、子ども委員、大人委員のそれぞれの立場でどのような取組が行えるのかについて、いろいろなアイデアを出していただきました。



- あいさつ運動を行う
- 相手のことを考えて行動する
- 人の顔を見て会話をする
- 教員との面談機会を増やす
- 進んで人に話しかける
- 日頃から周りの友だちと「いじめ」に関する話題に触れ、「いじめ」への関心を長期的に持つ
- 子どもが匿名で子どもに相談できる機会を設ける
- ポスターや看板をつくり、いろいろな学校に掲示する
- ていねいな言葉遣いをする
- 子ども自身による自発的な活動の機会をつくる
- 相手の気持ちを考えることができる力を育てる時間をつくる

いじめアンケートについて考える ～子どもが答えやすいアンケートとは～

いじめを発見する一つの手段としてアンケートを実施しているところですが、いろいろところで起こっているいじめの問題をみると、いじめられた子どもがアンケートに「いじめられている」と答えていなかった、ということがあります。

昨年度、滋賀県教育委員会では、子どもが答えやすいアンケートのサンプルを作成しました。しかし、それは大人が作ったものです。

そこで、このサンプルについてまたは、みなさんの学校で行われているアンケートを思い出しながら、「もっとこんな工夫をしたらいい。」などの意見交換が行われました。

心のアンケート

年 組 氏 名 _____

友だちを守るアンケート

Q: 友だちの中で、次のようなことをされていると感じることはありませんか。
感じるようなことがあれば、「はい」を、なければ「いいえ」を答えてください。

- 1 わざとさげられる、仲間はずれ、無視、コソコソ笑われる..... はい いいえ
- 2 変なあだ名や悪口を言われる、からかわれる..... はい いいえ
- 3 ぶつかられる、たたかれる、けられる、物を壊される..... はい いいえ
- 4 ネットや壁などに変なことを書かれる..... はい いいえ

- ① 最近、夜に眠れないときがありますか.....
- ② 食事の時、何も食べたくないときがありますか.....
- ③ 勉強に集中できないときがありますか.....
- ④ 今、何でも話せる友だちがいますか.....
- ⑤ 学校に行きたくない気分になるところがありますか.....
- ⑥ 友だちとの関係で「しんどいな」と思うことがありますか..... はい いいえ
- ⑦ いじられたり、からかわれたりしていると感じることがありますか..... はい いいえ
- ⑧ 誰か先生に相談したいと思うことがありますか..... はい いいえ

- 文章が堅苦しいなど、大人がつくったアンケートだとわかるものでないしてほしい。
- 記名式だと、本当のことを答えづらい。
- 正直に書いて、大人に知られると大ごとになるのではないかと不安になってしまう。
- 「はい・いいえ」だけの回答選択式ではなく、「少し当てはまる」などが答えられる選択肢がある方がいい。
- 自由記述が少し入っている方がいい。
- アンケートだけでなく、先生の面談とセットで行ってほしいし、何よりも、アンケート後の先生のフォローや先生との信頼関係が大切であると思う。

